令和元年５月 第２回定例庁議

１　開催日時　令和元年５月２２日（水）午前１０時～午前１０時１５分

２　開催場所　本館３階「特別会議室」

３　付議事項（第６条）

⑴ 指示事項（市長の指示、注意等）

なし

⑵　審議事項（市行政運営の基本方針、総合計画、重要議案、主要事業計画等の策定及び調整に関すること）

なし

⑶　報告事項（市政に重大な影響を与える法令等の制定改廃、国及び県の動向、又は重要な事務事業の進行状況に関すること）

なし

４　その他

①　市職員採用試験案内について（職員課副課長）

明日 5 月 23 日より、行政事務（大卒）、消防（大卒、救急救命士）について募集を開始する。再任用職員制度における任用期間が段階的に移行している時期であり、今年度については任期満了となる再任用職員がいない年となるため、新規採用職員が抑制されることになる。

②　審議会等の女性委員比率状況調査報告（人権課男女共同参画室長）

第 3 次男女共同参画プランでは、2 年後のプラン最終年度までに女性委員の比率 40%を目指すなど 3 つの目標を定めている。目標達成のため、①事前協議の徹底、②今年度改選予定の審議会は 40～60%を目指すこと、③女性委員がいない、もしくは比率が 30%未満の審議会は 1 人以上女性を登用すること、の 3 点をお願いする。

→毎回依頼をかけているにもかかわらず、改選の時期を迎えると達成できなかったというのが、長らく改善できていない審議会のパターンだと思われるが、対策は考えているか。（副市長）

→女性委員の選出が可能な構成団体に依頼先を変更する、あるいは、団体等に依頼する時点から女性委員をお願いするなど、具体的な対応をお願いしたい。（総務部長）

→市長公室所管の防災会議など 3 つの会議では、団体等からの女性委員の選出が難

しく、比率が長年低迷しているなか、女性委員を登用できるようにするにはどうすればよいか抜本的に考え方を変えて、数値が改善されている。課題となっている審議会については、従来の手法の延長線ではなく、思い切った考え方の転換も図ってもらいたい。（副市長）

③ 丸亀城月一イベント・涼風フェスタについて（産業文化部長）

資料館での「ニッカリ青江公開プレミアムウィーク」に合わせて、6月9日に開催するので来場いただきたい。

④ 瀬戸内国際芸術祭について（産業文化部長）

春会期は次の日曜日までとなっており、土曜日には北川フラム氏が本島の住民説明会に参加し、本市での秋会期の準備も今後具体的に動いていくことになる。庁内のプロジェクトチームも近々立ち上げる予定なので協力をお願いする。

⑤ 備讃諸島の日本遺産認定と今後の活用について（市民活動推進課長）

昨年度より笠岡市、土庄町、小豆島町とともに2市2町で取り組んでいる、石の文化をストーリーとした備讃諸島の日本遺産申請について、5月20日に文化庁から認定を受けたので報告する。今後、観光振興など市のブランドとしての活用に向けた取組について、メールで照会するので協力をお願いする。

5　副市長から

市議会6月定例会に向けて、議案などの調整で懸案がある場合は早めに情報をいただきたい。

6　教育長から

インフルエンザにより、東中学校で1学級が学級閉鎖となっている。また、今週土曜日からは小学校の運動会が始まり、5月、6月中で開催する予定となっている。

7　出席状況

⑴　庁議構成者（第５条）

職	氏　名	出欠
市　　長	梶　　正　治	○
副　市　長	徳　田　善　紀	○
教　育　長	金　丸　眞　明	○
モーターボート競走事業管理者	大　林　　諭	×
市長公室長	横　田　拓　也	○

総　務　部　長	栗　山　佳　子	○
健康福祉部長	宮　本　克　之	代
こども未来部長	石　井　克　範	○
生活環境部長	小　山　隆　史	代
都市整備部長	谷　口　信　夫	○
産業文化部長	山　地　幸　夫	○
ボートレース事業局次長	矢　野　浩　三	×
教　育　部　長	川　田　良　文	○
消　　防　　長	田　中　道　久	○
議会事務局長	渡　辺　研　介	○

(2) 関係職員（第９条）

市長公室職員課長代理

市長公室職員課副課長　　徳　田　　寛

総務部財務課長　　宮　西　浩　二

健康福祉部長代理

健康福祉部福祉課長　　横　山　孝　雄

生活環境部長代理

生活環境部市民活動推進課長　　田　中　壽　紀

総務部人権課長　　寺　嶋　　寛

総務部人権課男女共同参画室長　　堀　瀬　晴　彦

(3) 事務局（市長公室秘書政策課）

市長公室秘書政策課長　　窪　田　徹　也

市長公室秘書政策課副課長　　谷　本　智　子

市長公室秘書政策課政策推進担当長　　野　本　政　宏

市長公室秘書政策課主査　　宇　野　大志郎